

平成22年度 第2回大学院生命理工学研究科教授会議事要録

日 時 平成22年5月19日(水) 15:05～16:10
場 所 大会議室(B2棟426号室)
出席者 北爪研究科長ほか47名

配布資料

- 2-1 平成22年度授業関係について
 - 2-2 学生の異動について
 - 2-3 指導教員の変更について
 - 2-4 研究指導の委託について
 - 2-5 大学院博士課程修了予定者の審査員指名について(学位審査等取扱要項第22条適用)
 - 2 東京工業大学と東京医科歯科大学との間における学生交流に関する覚書(案)
- ◎現在員62名、公務出張等4名、定足数30名に対し出席者48名で教授会成立
◎前回議事要録(案)を承認した。

議事要旨

I 審議事項

- 1-1 平成22年度授業関係について
研究科長から、資料2-1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-2 学生の異動について
研究科長から、資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-3 指導教員の変更について
研究科長から、資料2-3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-4 研究指導の委託について
研究科長から、資料2-4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-5 大学院博士課程修了予定者の審査員指名について(学位審査等取扱要項第22条適用)
研究科長から、資料2-5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 2 東京工業大学と東京医科歯科大学との間における学生交流に関する覚書について
研究科長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 3 教員選考について
(1) 生命情報専攻 生命情報工学講座 生物圏情報分野 准教授
研究科長から、同教員選考委員会委員長から選考結果報告が提出された旨説明があった。次いで、同委員長から、資料に基づき十川 久美子氏の選考経過並びに略歴・業績等について説明があり、審議及び可否投票の結果、同氏を同分野の准教授に任用することを承認した。
- 4 各種委員会委員について
研究科長から、OHP資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

II 諸 報 告

- 1 教育研究評議会関係【第2回22.5.7開催】
喜多村評議員から次の事項の審議概要等について説明報告があった。
 - (1) 国立大学法人東京工業大学浸透圧発電研究センター規則の制定について
前回教授会で報告した浸透圧発電研究センターについて、組織・運営を定めた規則が制定された。
 - (2) 国立大学法人東京工業大学職員等の栄誉の祝賀該当者の選考について
来週26日(水)の本学創立記念日にTTFで職員等の栄誉の祝賀会が行われ、生命関係では2名の方が対象となっている。
 - (3) 国立大学法人東京工業大学学長選考会議委員の選出について
委員の任期満了に伴うもので、すずかけ台地区から北爪研究科長、池田資源研所長が選出された。
 - (4) 平成24年度東京工業大学学部入学者選抜の変更について(OHP資料2)

①募集人員

1類は特別入学資格試験20名を推薦入試10名へ、2類から6類は後期日程を取り止めAO入試10名乃至20名へ、7類は後期日程の募集人員を35名から20名にそれぞれ変更

②入学者選抜方法

- i) 前期日程；2段階選抜を取り止め、外国語科目は英語のみとし、本学が指定する大学入試センター試験5教科7科目の総得点があらかじめ公表する基準点以上であることが必要
- ii) 後期日程；入学者選抜試験を実施するのは7類のみ、2類から6類は行わない
 - a) 第1段階選抜は、本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目を3教科5科目から5教科7科目へ変更
 - b) 第2段階選抜は、個別学力検査は総合問題とし、利用する大学入試センター試験の教科・科目を3教科5科目とする

(5) 平成22年度大学院入学者選抜実施結果等について (OHP資料3)

修士、博士とも募集人員は一般選抜の定員だが、合格者数は国際大学院プログラムを含んでいるため、募集人員より多くなっている。また、博士後期課程で募集人員を充足しているのは生命理工学研究科だけである。

(6) 平成22年春の褒章・勲章受章者について

本学関係者2名の方が受章された。

(7) 教員の処分について

他大学の学部学生が応セラ研で実験中に負傷したことについて、責任所在検討委員会において検討され、受入教員が訓告、所長が文書による嚴重注意の処分を受けた。

関連して、研究科長から、本学では①外研究生の受入を認めていない②学生が深夜(12時過ぎ)に及ぶ実験を行う場合は教員が在室する必要がある③事故が起きた場合は教員の責任となる、という方針をとっているため、学生実験にあたっては十分理解して頂きたい旨の要請があった。

(8) 各部局等における教員人事(専任講師以上)の報告について

(9) 教育研究に関する諸問題について

(10) その他

- ①「博士の未来とキャリア-PLIPが拓いた道」の開催についてシンポジウムに参加願いたい。

2 部局長等会議関係

研究科長から、平成22年度第2回及び第3回の審議事項の概要等について説明報告があった。

【第2回22.4.16開催】

- (1) 平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について
- (2) 新入生キャンパスガイドの実施について
- (3) 桜花観賞の実施結果について
- (4) 奨学寄付金受入審査会における受入金額の推移について
- (5) 平成22年度研究助成等一覧(H22.4.1~H22.4.14受付分)について
- (6) 部局等の現状と問題点について
- (7) その他

- ① 英文六つ折パンフレットの配布について

【第3回22.5.7開催】

- (1) 東京工業大学テニユアトラック制度(改訂案)について
- (2) 各部局の平成22年度活動計画について
- (3) 省エネルギー推進(CO2削減)について
- (4) 平成21年度監事監査報告書について
- (5) 女性研究者のための人材登録サイトについて
- (6) 東京工業大学サウンドロゴの制定について
- (7) プレスリリースの雛形
- (8) 平成22年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験について
- (9) 平成22年度 博士学生異分野交流フォーラムの開催について
- (10) グローバルドクター教育院(仮称)と修士定員の改訂について

- (11) 平成22年度研究助成等一覧（H22. 4. 9～H22. 4. 22受付分）について
- (12) 平成22年度経営協議会開催日程について
- (13) 部局等の現状と問題点について
- (14) その他

- ① 第4回大岡山蔵前ゼミについて

3 本研究科関係

- (1) 東京工業大学特別研究員の称号付与について
研究科長から、OHP資料4に基づき報告があった。

4 その他

- (1) 研究科長から、テニユアトラック制度の改定案について、本制度は、講師や准教授相当の教員を専攻に所属するテニユアトラック教員として採用し、審査を得て正規採用するものであり、年度毎に3名以内を採用、当初の3年間は人件費、研究資金として30,000千円の支援が得られるようになっている旨の説明があった。
- (2) 研究科長から、東京都条例により本年度から本学はCO2排出量を平均8%削減することが義務づけられ、達成できない場合は、買い取ることになるので、一層のCO2削減努力をお願いしたい旨要請があった。
- (3) 研究科長から、平成21年度監事監査報告があり、業務運営、会計経理などについて多くの指摘事項があったので、専攻内で周知頂き、指摘事項については改善をお願いしたい旨の依頼があり、また、近日中にWebに掲載される旨の報告があった。
- (4) 研究科長から、女性研究者のための人材登録サイトを設けたので、各専攻で教員選考を行うに当たり活用願うとともに、知り合いの方へ同サイトへの登録を勧めて頂きたい旨の要請があった。
- (5) 研究科長から、東京工業大学サウンドロゴが制定されたので、イベントや学会の講演などでパワーポイント資料を使う際にご利用頂きたい旨の依頼があった。
- (6) 研究科長から、先生方の研究業績をできるだけリリースしていきたいので、プレスリリースの雛形を活用願い、三原先生又は研究科長へ提出願いたい旨依頼があった。
- (7) 研究科長から、グローバルドクター教育院（仮称）構想について、以下の説明があった。
 - ① 産業界を含む国際社会で活躍できる高度研究者・技術者を養成するために平成23年度概算要求事項としてグローバルドクター教育院（仮称）の設立を検討している。この中で学生には、深い専門性だけでなく経済、哲学などの一般知識を身につけることによりより高い人間力を獲得することが期待される。
 - ② 当研究院設立にあたり大学全体で30名程度の博士定員の増を考えており、生命理工学研究科としては、10名程度の増を考えている。
- (8) 研究科長から、修士定員の改訂については、各専攻から要望して頂いたものを提出し、現在要求理由を手掛けているところであり、順調に進めば平成24年度入学から定員が増えることになる旨の説明があった。
- (9) 研究科長から、5月28日（金）15時から開催予定の第2回蔵前ゼミは、企業社会論の授業ともなっているので、参加されるよう周知願いたい旨の依頼があった。
- (10) 研究科長から、平成21年度教員個人評価の集計結果について報告があった。
- (11) 研究科長から、平成21年度研究科予算の決算報告及び平成22年度予算計画について説明があり、承認された。